

令和5年度第1回環境スキルアップ講座_結果報告

1 講座内容と結果概要

本講座は主に環境学習リーダー養成講座を修了した方を対象として、環境の最新の社会動向や情報を提供し、皆様の実践活動を支援するために、開催しています。

(1) テーマ・内容・講師

テーマ：『エシカル消費を通じた社会課題解決を考える～身近な食を通じて』

内容：SDGsのゴール12「作る責任 使う責任」では、消費が社会課題を作り出してきたこと、それゆえに課題解決のために責任があり、やるべきことを示しています。

本講座では、私たちが直面している社会課題、それに対する国、企業、投資家の取り組みを概観し、身近な食を通じて消費者・生活者としてすべきことを考えます。

講師：立教大学21世紀社会デザイン研究科特任教授

不二製油グループ本社ESGアドバイザー 河口 眞理子氏

(2) 開催日時・方法

①Zoom ウェビナーによるオンライン配信

令和5年9月27日(水曜日) 14時～16時

②学習管理システムによるオンデマンド配信

令和5年10月6日～10月31日

(3) 参加人数

①Zoom ウェビナーの受講者 43名

②学習管理システムの受講者 56名

(4) 感想等

受講者からは、エシカル消費の大切さについての「気づき」と、多くの人にもっと知ってもらう必要がある等、様々な意見・感想をいただきました。一部を抜粋して紹介します。

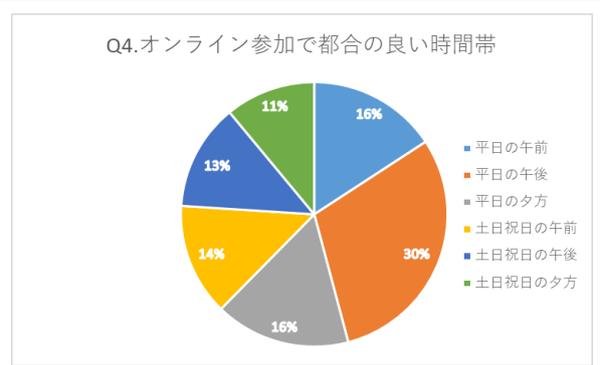
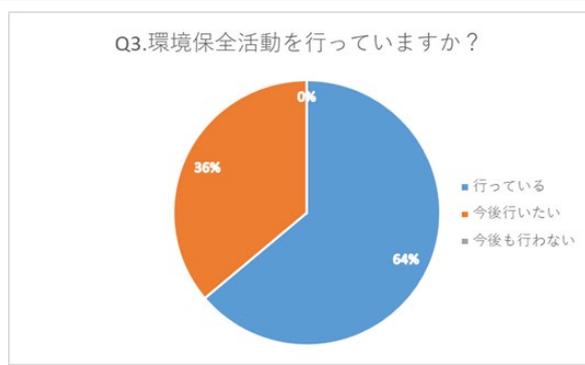
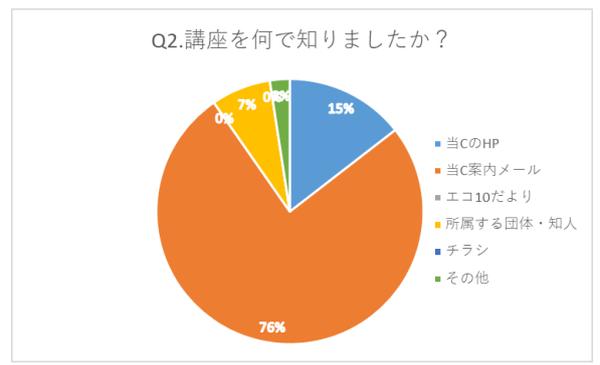
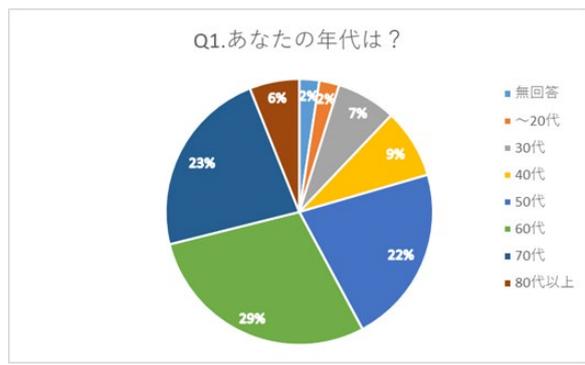
・食料とエネルギーを始めとする環境負荷の関係、それを考えながら「食」と付き合う事の重要性を再認識させて頂いた気がします。

・環境についての意識が高まりました。今までは何となく環境にいいからとか、優しいからとか。今回の講座を視聴して、私たち一人ひとりがやらなければ解決できない問題であることを認識しました。メディア等で取上げ、世の中の人たちが理解する必要があると思いました。

・様々な問題を解決するには複雑に絡み合った社会情勢を整理する必要があると思いますが、一人ひとりが出来ることから進めていく必要があり、次世代を担う小学生や中学生、さらに高校生や大学生まで一貫した環境学習をしていくことが重要なのではないかと考えます。

2 アンケート結果

オリエンテーション時のアンケート結果(受講者の属性)



講座終了時のアンケート結果(講座の評価や希望)

